

北海道浮魚ニュース

平成 12 (2000) 年度 13 号 (通巻 No.83)

2000 年 9 月 8 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道央～道北日本海スルメイカ調査結果

スルメイカの分布密度は沖合で高く、魚体は平年並み

2000 年 8 月 29 日～9 月 6 日にかけて調査船おやしお丸によるスルメイカ調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

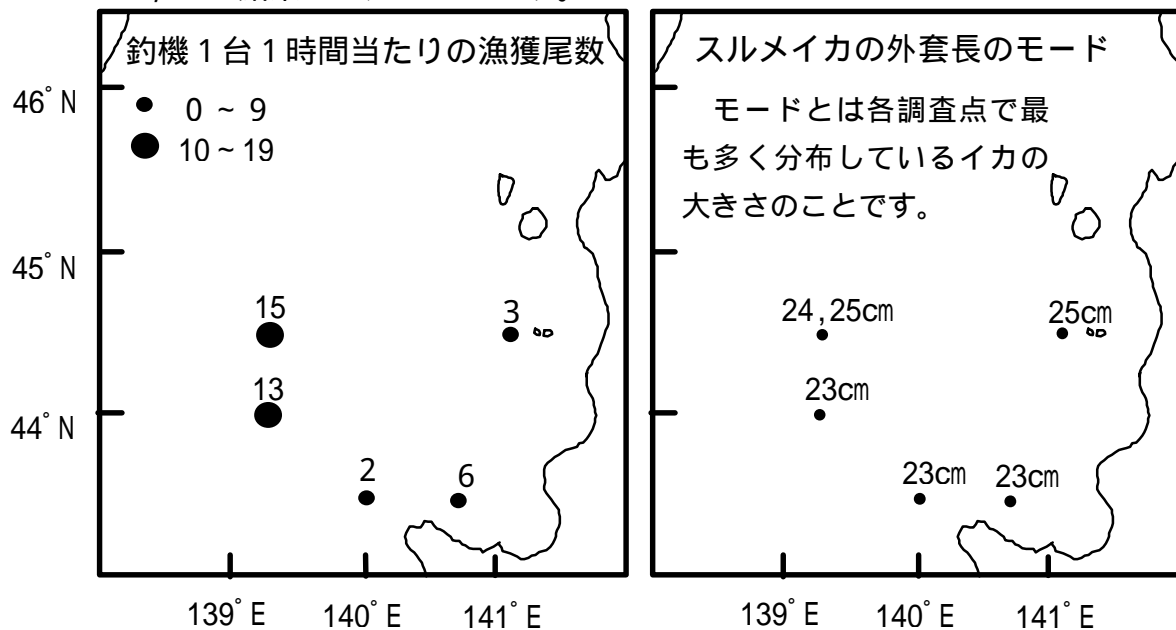


図 1 スルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度

スルメイカの分布密度 (CPUE: 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は日口境界線付近の沖合で 13～15 と高く、沿岸寄りでは 2～6 と低くなっていました (図 1: 左図)。平均の分布密度は 8 で、前年の 6 をやや上回りました (図 2)。

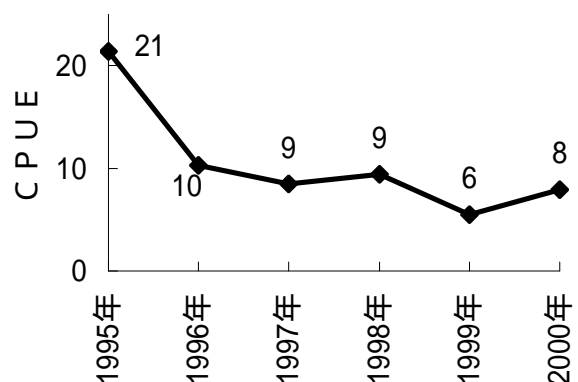


図 2 8 月下旬～9 月上旬の調査での分布密度 (平均 CPUE) の経年変化

スルメイカの大きさ

スルメイカの外套長のモード（最も多く分布しているイカの外套長）は、各調査点では23～25cmでした（図1：右図）。調査海域全体の外套長のモードは23cmで、1999年より大きく、1998年より小さくなっていました（図3）。

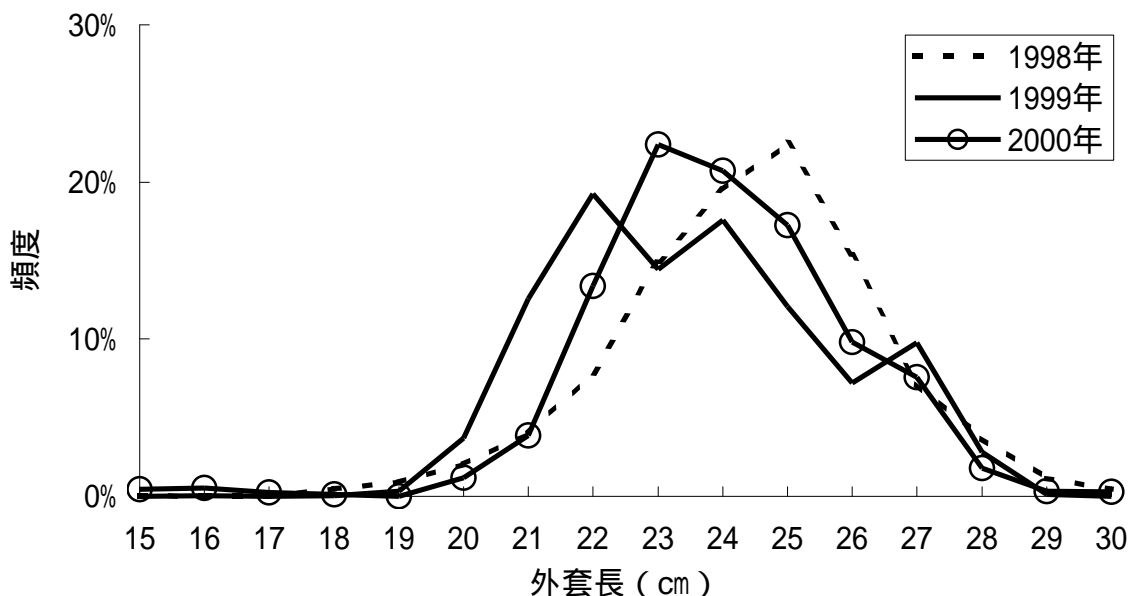


図3 調査海域全体での外套長組成

水温分布

調査海域の50m深水温分布は5～17台でした（図4）。調査海域の南西で水温が低く、北東で高くなっていました。

標識放流

図4に示した場所で、標識放流を行いました（表1）。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。記念品を差し上げております。

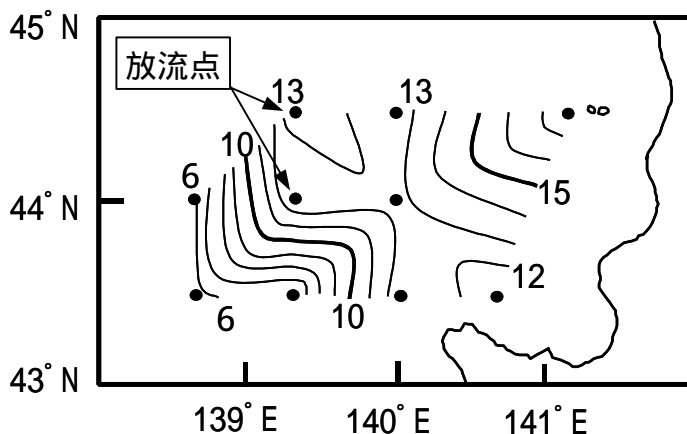


図4 8月下旬～9月上旬の50m深水温分布と標識放流点

表1 スルメイカ標識放流状況

放流月日	放流場所	標識の色・番号	放流尾数
8月30日	44°02'N、139°19'E	黄色・中水・6001～6235	235
8月31日	44°30'N、139°22'E	黄色・中水・6236～6770	535

（文責：中央水試資源管理部）